

第3章 くらしの満足度【問7】

1 重要度【問7】

身近な生活に関する43項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

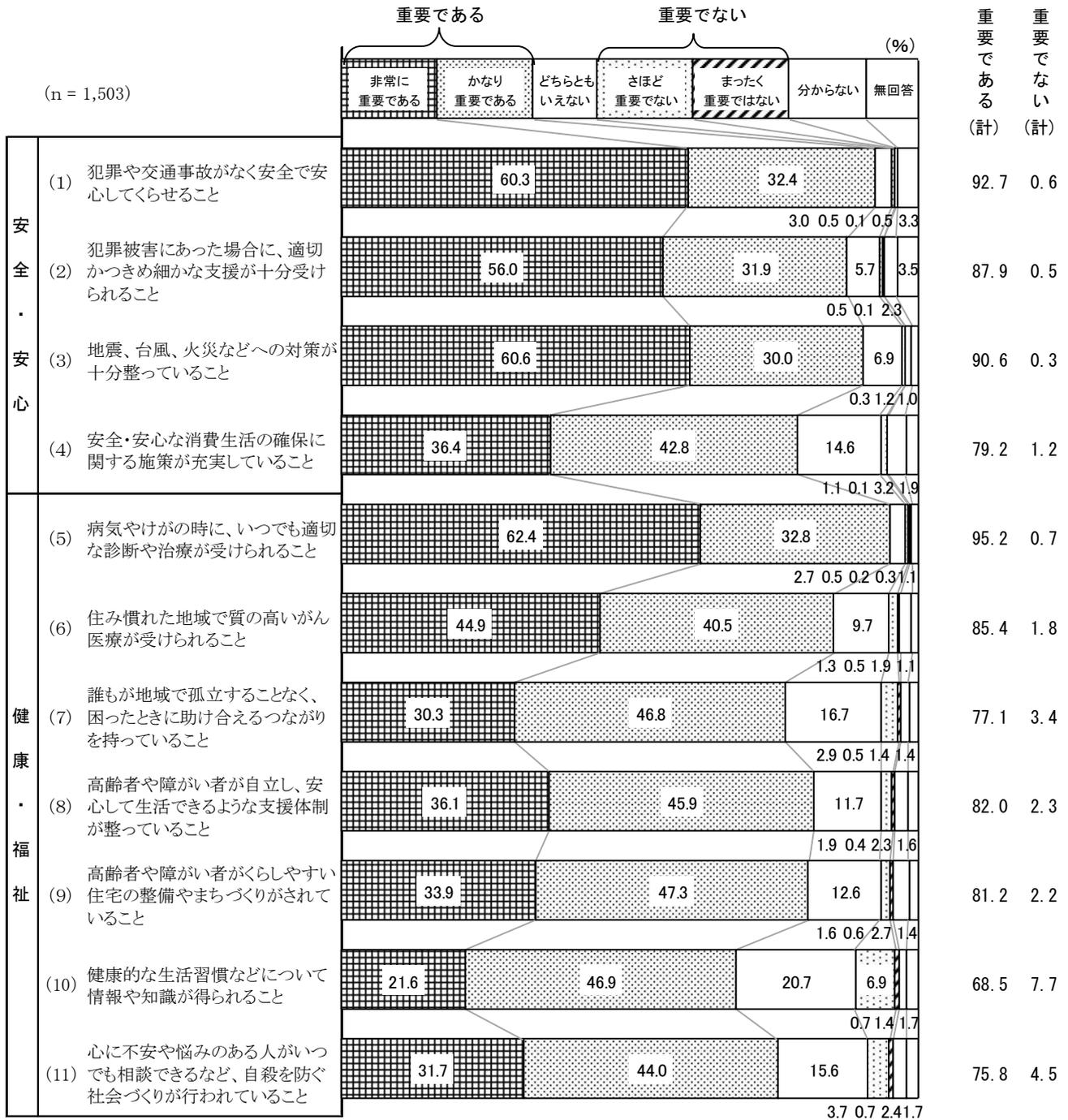
【全体の状況】

項目別の重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

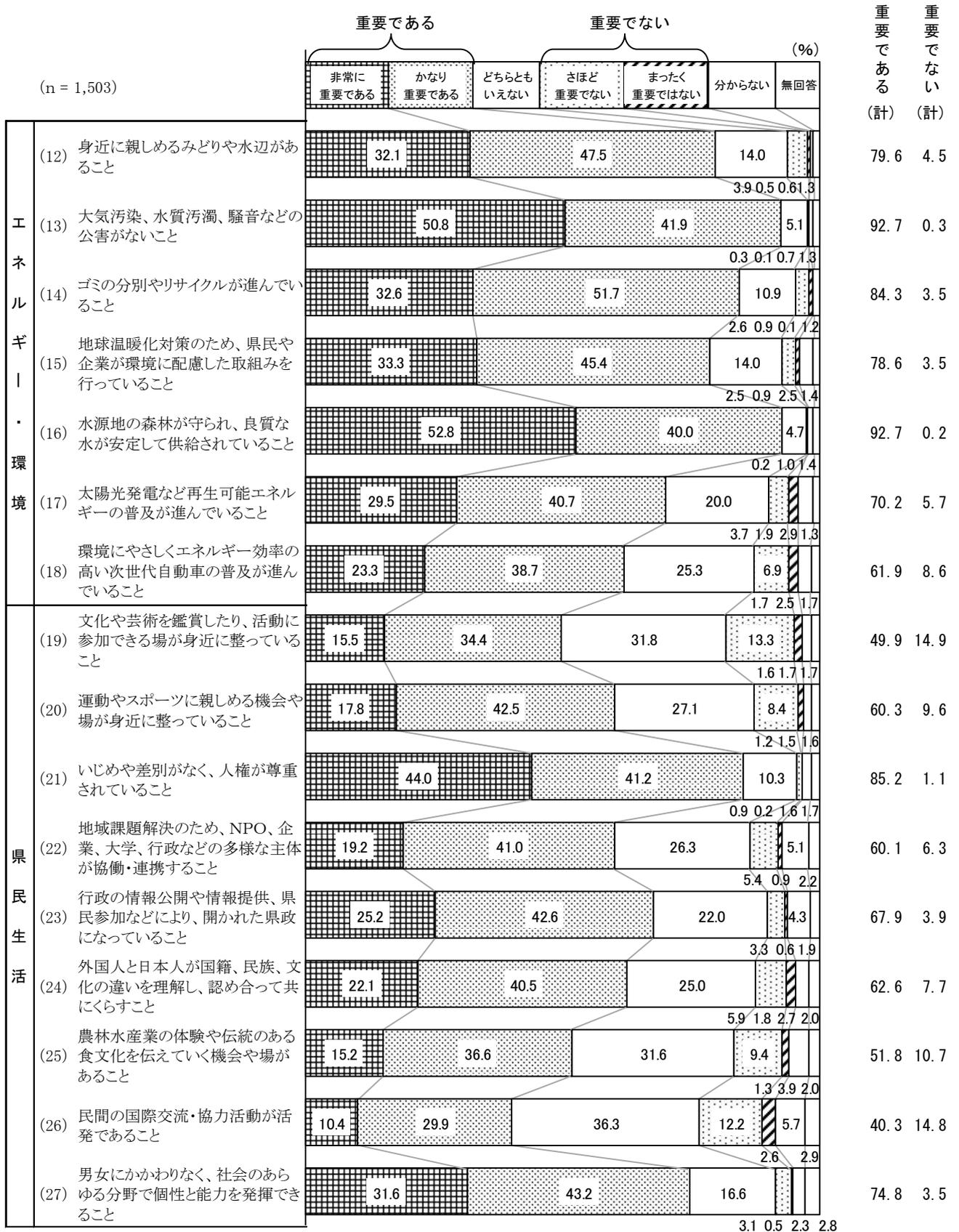
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が95.2%で最も多く、「(16) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」(92.7%)、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること」(92.7%)、「(13) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(92.7%)が続いた。(図表3-1-1)

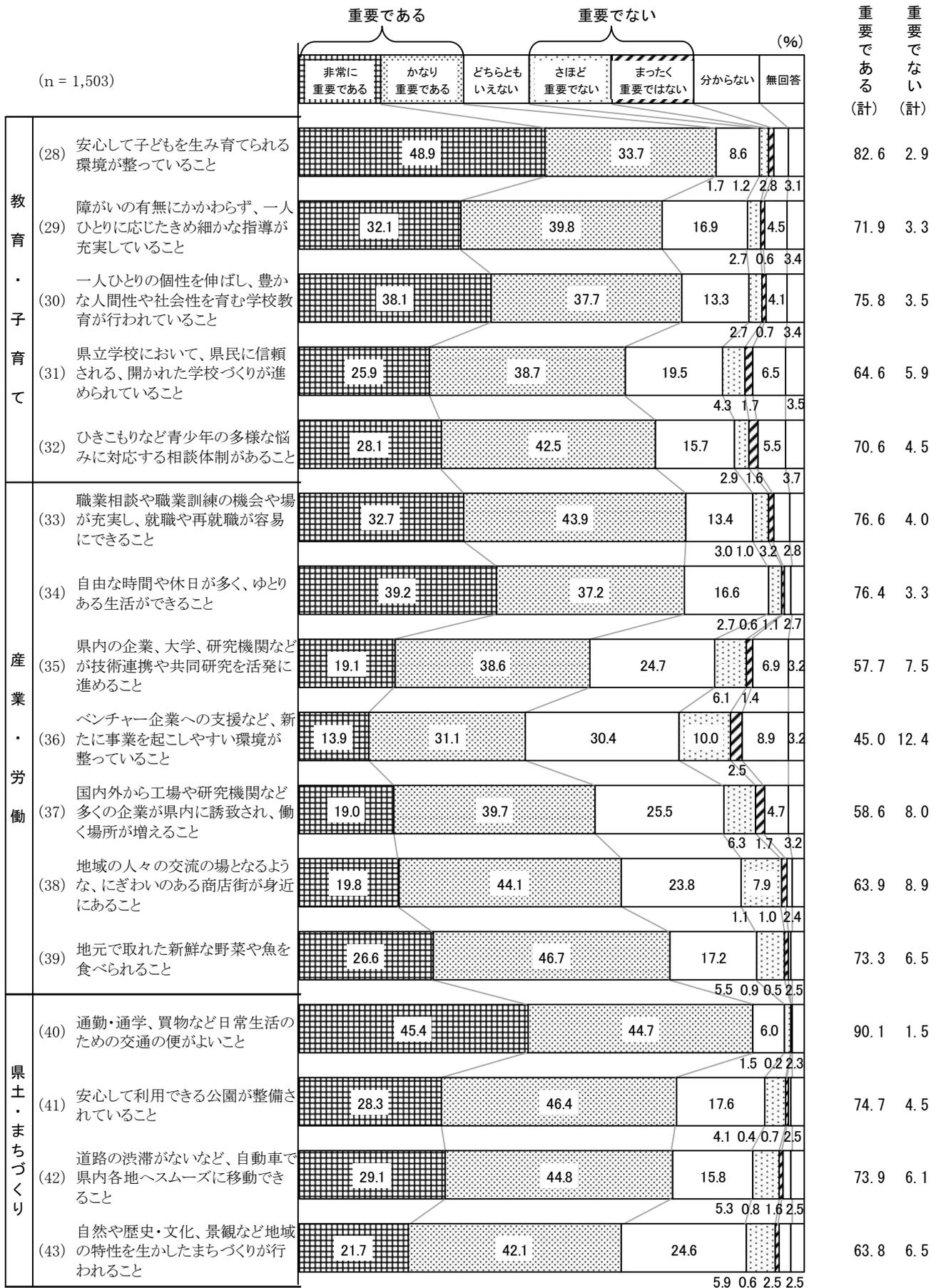
図表3-1-1 重要度



図表3-1-1 重要度（つづき）



図表3-1-1 重要度 (つづき)



【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去の調査と比較すると、上位9項目は、前回調査と同じ項目となっている。(図表3-1-2)

図表3-1-2 重要度《重要である》の上位10項目－過去との比較

	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)	令和3年度 (n = 1,503)
1位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(94.6%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(95.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.7%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.2%)
2位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(93.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.4%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(92.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(93.7%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(92.7%)
3位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.9%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.7%)
4位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.7%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.8%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.7%)
5位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(92.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.4%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.6%)
6位	下水道が整備されていること(90.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(91.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.3%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.1%)
7位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(91.4%)	下水道が整備されていること(89.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(87.9%)
8位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(89.4%)	下水道が整備されていること(91.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(87.1%)	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること(86.2%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(85.4%)
9位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.1%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(87.0%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.0%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.2%)
10位	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(89.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.7%)	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること(85.3%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(83.2%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(84.3%)

※各項目の過去との比較については、図表A (97～107ページ)を参照

図表3-1-3 重要度《重要である》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

項目 地域 上段：順位 下段：(%)	(5)	(16)	(1)	(13)	(3)	(40)	(2)
		な病 診気 断や けが 治療 が受 けら れつ ても 適切	が水 安源 定地 しの 森林 が守 られ てい る良 質な 水	し犯 て罪 くや ら交 せ通 せる 事故 がな く安 全で 安心	公大 害気 が汚 染、 水質 汚濁、 騒音 などの	十地 分震 整、 つ台 つ風、 いて る火 災な どへ の対 策が	た通 勤の ・交 通学 の買 物な ど日 常生 活の
全 体 (n=1,503)	① 95.2	② 92.7	③ 92.7	③ 92.7	⑤ 90.6	⑥ 90.1	⑦ 87.9
横 浜 (n= 590)	① 96.1	② 92.9	② 92.9	④ 92.4		⑤ 91.5	
川 崎 (n= 204)	① 96.6	③ 95.6	⑤ 92.6	② 96.1	④ 93.6		
相模原 (n= 108)	④ 90.7	① 92.6	② 91.7	② 91.7	⑤ 88.0	⑤ 88.0	
横須賀三浦 (n= 127)	① 96.9	③ 92.1	② 93.7	③ 92.1	⑤ 88.2	⑤ 88.2	⑤ 88.2
県 央 (n= 143)	① 96.5	③ 91.6	② 92.3	④ 90.2		⑤ 89.5	
湘 南 (n= 217)	① 93.5	④ 92.6	② 93.1	② 93.1	⑤ 90.8		
県 西 (n= 53)	① 100.0	⑤ 96.2	③ 98.1	① 100.0	③ 98.1		

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-1-4 重要度《重要である》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(16)	(1)	(13)	(3)	(40)	(2)	(6)	(21)	(14)	(28)	(7)	(34)	(39)
	な病 診気 断や けが の 時 に、 い つ て も 適 切	が水 源 地 の 森 林 が 守 ら れ 、 良 質 な 水	し て 犯 罪 や 交 通 事 故 が な く 安 全 で 安 心	公 害 が な い こ と	地 震 、 台 風 、 火 災 な ど へ の 対 策 が	通 勤 ・ 通 学 、 買 物 な ど 日 常 生 活 の	犯 罪 被 害 に あ つ た 場 合 に 、 適 切 か	住 み 慣 れ た 地 域 で 質 の 高 い が ん 医	さ い じ め や 差 別 が な く 、 人 権 が 尊 重	い る こ と	安 心 し て 子 ど も を 生 み 育 て ら れ る	を 困 つ た と き に 助 け 合 え る つ な が り	誰 も が 地 域 で 孤 立 す る こ と な く	あ る 自 由 な 時 間 や 休 日 が 多 く 、 ゆ と り
性・年代 上段：順位 下段：(%)														
全 体 (n=1,503)	① 95.2	② 92.7	③ 92.7	③ 92.7	⑤ 90.6	⑥ 90.1	⑦ 87.9	⑧ 85.4	⑨ 85.2	⑩ 84.3	⑪ 82.6	⑰ 77.1	⑲ 76.4	⑳ 73.3
男 性 (n=721)	① 93.6	② 93.1	② 93.1	④ 92.6	⑤ 90.0	⑤ 90.0								
女 性 (n=717)	① 97.6	③ 92.9	④ 92.7	② 93.6	⑤ 91.6									
男 性 18～29歳 (n=34)	② 97.1		① 100.0	⑤ 94.1	② 97.1	② 97.1	⑤ 94.1		⑤ 94.1					
30歳代 (n=87)	② 93.1	④ 92.0	① 95.4		④ 92.0	② 93.1					④ 92.0		④ 92.0	
40歳代 (n=146)	② 93.2	① 95.9	② 93.2	④ 91.8		④ 91.8								
50歳代 (n=181)	① 95.0	④ 93.4	③ 94.5	① 95.0	④ 93.4									
60歳代 (n=150)	② 94.0	④ 91.3	③ 92.7	① 94.7	⑤ 88.7									
70～74歳 (n=62)	③ 91.9	① 95.2	② 93.5			⑤ 88.7				④ 90.3				
75歳以上 (n=60)	② 90.0	② 90.0		① 91.7		④ 88.3				④ 88.3				
女 性 18～29歳 (n=51)	① 96.1		③ 92.2	② 94.1	③ 92.2		③ 92.2							
30歳代 (n=97)	① 99.0	③ 95.9			⑤ 93.8	② 97.9	④ 94.8				⑤ 93.8			
40歳代 (n=151)	① 98.7	④ 94.0	④ 94.7	② 96.0	⑤ 93.4									
50歳代 (n=155)	① 98.7	⑤ 91.0	③ 94.8	④ 94.2	② 95.5			⑤ 91.0						
60歳代 (n=130)	① 97.7	④ 94.6	③ 95.4	② 96.2	⑤ 93.8									
70～74歳 (n=83)	① 97.6	② 94.0		④ 89.2		④ 89.2		④ 89.2		③ 91.6				
75歳以上 (n=50)	② 90.0	④ 86.0	④ 86.0	④ 86.0						① 94.0	③ 88.0	④ 86.0		④ 86.0

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/)

2 満足度【問7】

「重要度」で尋ねた項目と同じ43項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

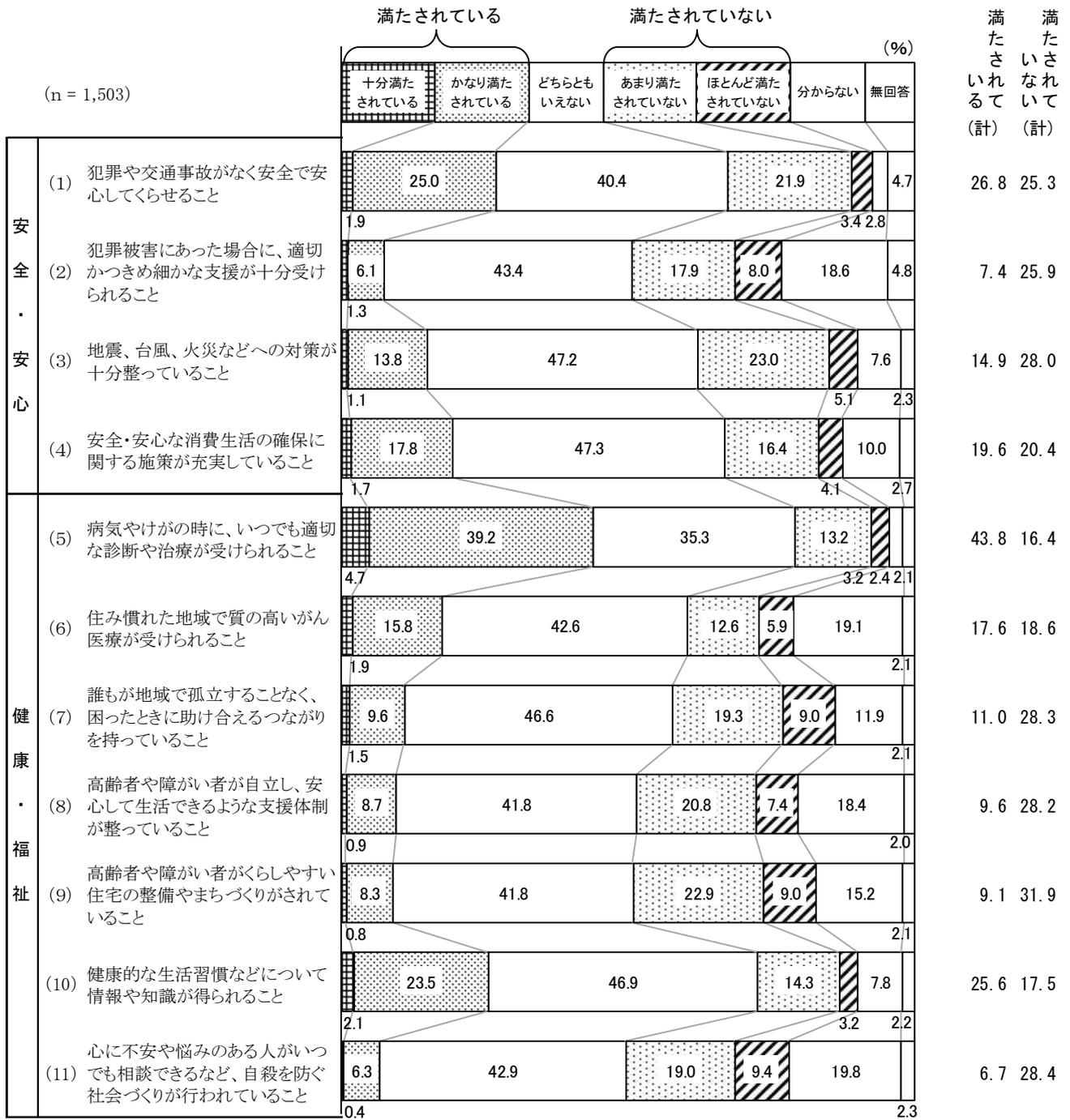
【全体の状況】

項目別の満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(14) ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」が52.2%で最も多く、「(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」(49.2%)と「(12) 身近に親しめるみどりや水辺があること」(47.4%)が続いた。

「あまり満たされていない」と「ほとんど満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が43.2%で最も多く、「(42) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」(38.2%)と「(34) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」(36.2%)が続いた。(図表3-2-1)

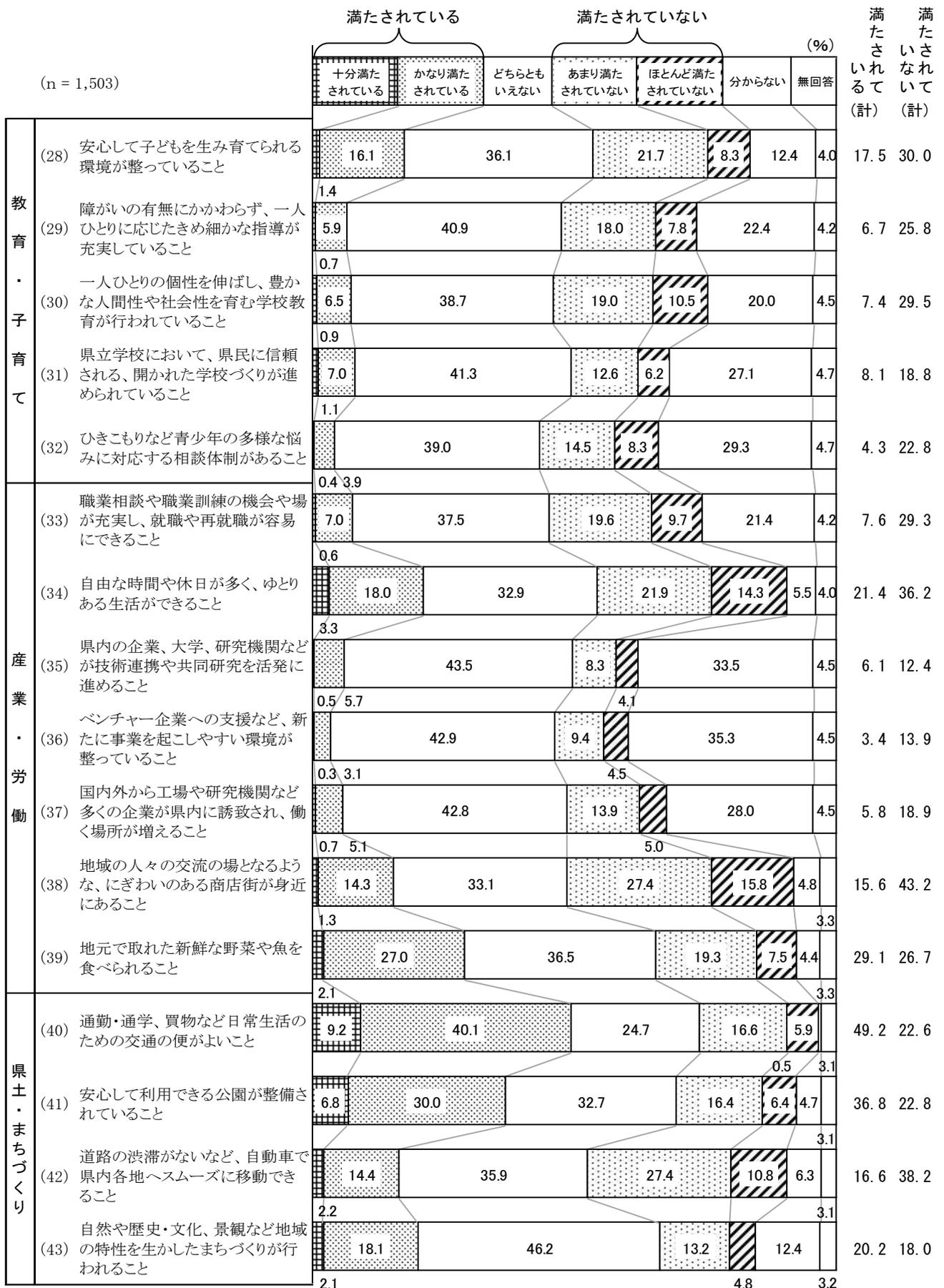
図表3-2-1 満足度



図表3-2-1 満足度（つづき）

	(n = 1,503)	満足度（つづき）							満 た さ い れ る て （計）	満 た さ い な れ て （計）
		満たされている			満たされていない			（%）		
		十分満た されている	かなり満た されている	どちらとも いえない	あまり満た されていない	ほとんど満た されていない	分からない			
エ ネ ル ギ ー ・ 環 境	(12) 身近に親しめるみどりや水辺があること	7.3	40.2	30.5	14.2	4.1	1.9	1.9	47.4	18.3
	(13) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	27.1	35.1	22.0	6.3	4.1	3.3	2.3	30.3	28.3
	(14) ゴみの分別やリサイクルが進んでいること	6.3	45.8	31.1	9.6	2.8	2.7	1.7	52.2	12.4
	(15) 地球温暖化対策のため、県民や企業が環境に配慮した取組みを行っていること	11.2	46.4	18.3	15.4	1.1	5.5	2.1	12.4	23.8
	(16) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること	6.9	36.6	34.5	7.9	10.0	1.1	2.1	43.4	9.8
	(17) 太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	6.9	40.2	22.2	10.1	17.1	1.4	2.1	8.3	32.3
	(18) 環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	7.3	38.8	22.2	11.6	16.6	1.4	2.1	8.4	33.8
	県 民 生 活	(19) 文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	17.7	44.6	16.9	7.1	9.0	1.1	2.4	20.2
(20) 運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること		24.9	39.3	18.1	6.1	6.2	2.5	2.2	28.1	24.2
(21) いじめや差別がなく、人権が尊重されていること		9.2	45.0	19.4	8.4	14.2	3.2	2.2	10.6	27.8
(22) 地域課題解決のため、NPO、企業、大学、行政などの多様な主体が協働・連携すること		46.1	13.4	5.9	25.3	0.8	5.5	3.0	6.3	19.3
(23) 行政の情報公開や情報提供、県民参加などにより、開かれた県政になっていること		6.9	42.2	17.9	11.2	18.4	0.7	2.6	7.7	29.1
(24) 外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合って共にくらすこと		7.1	47.8	16.4	7.1	18.0	0.9	2.7	8.1	23.4
(25) 農林水産業の体験や伝統のある食文化を伝えていく機会や場があること		6.4	46.1	17.0	7.2	19.8	0.8	2.7	7.2	24.2
(26) 民間の国際交流・協力活動が活発であること		47.3	12.4	23.8	4.1	0.8	5.6	6.0	6.4	18.4
(27) 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること		7.9	42.6	24.2	8.2	12.2	0.9	4.0	8.8	32.4

図表3-2-1 満足度（つづき）



【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去の調査と比較すると、令和2年度から追加された項目である「(14) ゴみの分別やリサイクルが進んでいること」が第1位、平成28年度～令和元年度まで第2位、令和2年度では第3位だった「(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が第2位、平成28年度～令和元年度まで第3位、令和2年度では第2位だった「(12) 身近に親しめるみどりや水辺があること」が第3位となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 満足度《満たされている》の上位10項目－過去との比較

	平成29年度(n = 1,382)	平成30年度(n = 1,330)	令和元年度(n = 1,385)	令和2年度(n = 1,576)	令和3年度(n = 1,503)
1位	下水道が整備されていること(65.4%)	下水道が整備されていること(68.0%)	下水道が整備されていること(68.2%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(50.8%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(52.2%)
2位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(44.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.7%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(49.8%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.2%)
3位	身近に親しめる緑や水辺があること(44.1%)	身近に親しめる緑や水辺があること(47.6%)	身近に親しめる緑や水辺があること(46.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(48.4%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.4%)
4位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(47.3%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(43.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(44.7%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(43.8%)
5位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(41.4%)	安心して利用できる公園が整備されていること(43.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(41.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(43.4%)
6位	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.9%)	安心して利用できる公園が整備されていること(41.0%)	安心して利用できる公園が整備されていること(39.5%)	安心して利用できる公園が整備されていること(36.8%)
7位	安心して利用できる公園が整備されていること(39.0%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(42.3%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.5%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(32.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(30.3%)
8位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(30.9%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.7%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(31.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(29.6%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(29.1%)
9位	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(33.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(29.6%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(29.2%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.1%)
10位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(27.4%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(31.8%)	文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること(26.4%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(24.0%) 健康的な生活習慣などについて情報や知識が得られること	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(26.8%)

※「下水道が整備されていること」は令和2年度より削除

※各項目の過去との比較については、図表B(108～118ページ)を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去の調査と比較すると、平成29年度～令和2年度の調査と同様に、「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が第1位となった。「(42)道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」は、前回調査と同様に第2位となった。「(27) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」は、前回調査の第5位から第3位となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 満足度《満たされていない》の上位10項目－過去との比較

	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)	令和3年度 (n = 1,503)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.5%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(41.6%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.8%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.2%)
2位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(33.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(37.8%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(36.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(38.2%)
3位	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(34.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.1%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(35.2%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(32.0%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(36.2%)
4位	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(33.9%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(31.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.9%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(31.5%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(33.8%)
5位	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(31.8%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(30.3%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(33.6%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(31.3%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(32.4%)
6位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(31.7%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(28.9%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(33.1%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(31.0%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(32.3%)
7位	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもってしていること(31.5%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(28.5%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(31.8%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(30.6%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(31.9%)
8位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.7%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもってしていること(28.0%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性をはぐくむ学校教育が行われていること(31.4%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持ってしていること(29.6%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(30.0%)
9位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(30.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(27.7%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.8%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(29.3%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.5%)
10位	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.2%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(27.2%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(30.3%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.2%)	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(29.3%)

※各項目の過去との比較については、図表B (108～118 ページ) を参照

図表3-2-4 満足度《満たされている》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目 地域 上段：順位 下段：(%)	(14)	(40)	(12)	(5)	(16)	(41)	(13)	(39)
		がゴミの分別やリサイクル	が常勤生活・このため、買い物など	水辺に親しむとみどりや	受けても適切な診療や治療がつ	で病気の切な診時に、治療がつ	さ良質な水の森林が守られ、	が安心して利用できる公園
全体 (n=1,503)	① 52.2	② 49.2	③ 47.4	④ 43.8	⑤ 43.4	⑥ 36.8	⑦ 30.3	⑧ 29.1
横浜 (n= 590)	② 50.2	① 56.4	③ 48.0	④ 45.6		⑤ 44.7		
川崎 (n= 204)	② 56.4	① 64.7	⑤ 40.7	③ 51.5	④ 41.2			
相模原 (n= 108)	① 48.1	⑤ 31.5	③ 44.4	④ 38.0	① 48.1			
横須賀三浦 (n= 127)	① 59.8		② 57.5	③ 47.2	④ 44.9			⑤ 41.7
県央 (n= 143)	① 55.9	④ 39.2	② 46.9	⑤ 37.8	③ 44.1			
湘南 (n= 217)	① 53.0	④ 44.2	② 48.8	⑤ 43.3	③ 45.6			
県西 (n= 53)	③ 47.2	⑤ 34.0	① 58.5		② 49.1		⑤ 34.0	③ 47.2

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-5 満足度《満たされていない》の上位項目—地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目	(38)	(42)	(34)	(18)	(27)	(17)	(9)	(28)	(30)	(11)	(7)	(3)	(39)	(40)	(6)
地域 上段：順位 下段：(%)	とにぎわいのある商店街が身近にあること	各地へのスムーズに移動できること	生活が自由な時間や休日が多く、ゆとりある	環境にやさしくエネルギー効率の高い	分野で個性と能力を發揮できること	普及が進んでいること	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅	が安心して子どもを育てられる環境	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	心で不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、助け合えるつながりを持つこと	誰もが地域で孤立することなく、困っているときに助け合えるつながりを持つこと	地震、台風、火災などへの対策が十分	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	通勤・通学、買物など日常生活のため	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること
全体 (n=1,503)	① 43.2	② 38.2	③ 36.2	④ 33.8	⑤ 32.4	⑥ 32.3	⑦ 31.9	⑧ 30.0	⑨ 29.5	⑫ 28.4	⑬ 28.3	⑯ 28.0	⑰ 26.7	⑳ 22.6	㉔ 18.6
横浜 (n= 590)	① 40.2	③ 34.1	② 38.0	⑤ 32.9	④ 33.9										
川崎 (n= 204)	② 37.7	③ 34.8	⑤ 32.8	① 39.7				④ 33.8							
相模原 (n= 108)	① 54.6	② 51.9					④ 37.0				③ 38.9		④ 37.0		
横須賀三浦 (n= 127)	② 44.1	① 45.7				④ 38.6	③ 41.7					⑤ 36.2			
県央 (n= 143)	① 49.7	② 41.3	④ 31.5						④ 31.5	③ 33.6					
湘南 (n= 217)	② 42.4	① 43.8	③ 37.8	⑤ 33.6	④ 36.4	⑤ 33.6									
県西 (n= 53)	① 56.6			⑤ 37.7			② 45.3							③ 41.5	④ 39.6

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/)

図表3-2-6 満足度《満たされている》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

性・年代 上段：順位 下段：(%)	(14)	(40)	(12)	(5)	(16)	(41)
	でゴミの分別やリサイクルが進ん	の通勤・通学、通の買物がよい日常生活	あ身近にと親しめるみどりや水辺が	と切病と病気の断やが治療が受けられるも適	と水水水が安地の森が守られ、良質な	さ安れ心して利用できる公園が整備
全体 (n=1,503)	① 52.2	② 49.2	③ 47.4	④ 43.8	⑤ 43.4	⑥ 36.8
男性 (n= 721)	① 54.0	② 49.0	③ 46.9	④ 44.9	⑤ 44.2	
女性 (n= 717)	② 50.9	① 51.0	③ 48.5	④ 43.8	⑤ 43.7	
男性18～29歳 (n= 34)	④ 52.9	② 58.8	② 58.8	① 64.7		④ 52.9
30歳代 (n= 87)	③ 43.7	② 48.3	① 50.6	⑤ 35.6	⑤ 35.6	④ 41.4
40歳代 (n= 146)	② 54.1	① 56.2	③ 47.9	⑤ 45.9	④ 46.6	
50歳代 (n= 181)	① 51.9	③ 44.8	④ 43.1	② 45.9	⑤ 39.8	⑤ 39.8
60歳代 (n= 150)	① 56.7	② 48.7	④ 41.3	③ 42.7	⑤ 37.3	
70～74歳 (n= 62)	① 62.9	⑤ 41.9	③ 45.2	④ 43.5	② 59.7	
75歳以上 (n= 60)	③ 58.3	⑤ 46.7	② 60.0	④ 50.0	① 63.3	
女性18～29歳 (n= 51)	③ 45.1	① 51.0	④ 43.1	⑤ 41.2	① 51.0	
30歳代 (n= 97)		② 57.7	① 63.9	③ 49.5	⑤ 44.3	④ 46.4
40歳代 (n= 151)	③ 46.4	② 49.0	① 51.0	⑤ 43.0	④ 45.7	
50歳代 (n= 155)	② 53.5	① 54.8	③ 47.1	④ 43.2	⑤ 41.3	
60歳代 (n= 130)	① 51.5	① 51.5	④ 44.6	③ 45.4	⑤ 38.5	
70～74歳 (n= 83)	① 63.9	④ 41.0	③ 43.4	⑤ 39.8	② 47.0	
75歳以上 (n= 50)	① 66.0	② 48.0	⑤ 40.0	④ 42.0	③ 44.0	

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-7 満足度《満たされていない》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

項目 性・年代 上段：順位 下段：(%)	(38)	(42)	(34)	(18)	(27)	(17)	(9)	(28)	(33)	(23)	(11)	(7)	(13)	(8)	(3)	(21)	(39)	(2)	(1)	(25)	(24)	
	る地域の商店街が身近にあること																					
道路の渋滞がないこと																						
自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること																						
環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること																						
男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること																						
太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること																						
高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること																						
安心して子どもを育てられる環境が整っていること																						
職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること																						
開かれた県政公開や情報提供、県民参加などにより、行政の情報公開や情報提供、県民参加などにより、																						
心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること																						
誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていること																						
大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと																						
高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること																						
地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること																						
いじめや差別がなく、人権が尊重されていること																						
地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること																						
犯罪被害にあつた場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること																						
犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること																						
農林水産業の体験や伝統のある食文化を伝えていく機会や場があること																						
外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合つて共にくらすこと																						
全体 (n=1,503)	① 43.2	② 38.2	③ 36.2	④ 33.8	⑤ 32.4	⑥ 32.3	⑦ 31.9	⑧ 30.0	⑩ 29.3	⑪ 29.1	⑫ 28.4	⑬ 28.3	⑭ 28.3	⑮ 28.2	⑯ 28.0	⑰ 27.8	⑱ 26.7	⑲ 25.9	⑳ 25.3	㉑ 24.2	㉒ 23.4	
男性 (n=721)	① 44.8	② 42.0	④ 37.7	③ 37.9		⑤ 36.5																
女性 (n=717)	① 41.7	⑤ 35.4	③ 34.4		⑤ 32.9		④ 33.5															
男性18～29歳 (n=34)		① 52.9	① 52.9	③ 44.1		④ 38.2										④ 38.2						④ 38.2
30歳代 (n=87)	② 50.6	① 52.9	③ 48.3					④ 42.5					⑤ 40.2									
40歳代 (n=146)	① 47.3	③ 43.2	② 45.9	④ 37.7		④ 37.7																
50歳代 (n=181)	② 48.6	① 49.7	④ 37.6	⑤ 36.5		③ 39.2																
60歳代 (n=150)	③ 37.3	② 38.0		③ 37.3		① 41.3				③ 37.3												
70～74歳 (n=62)	① 41.9			② 37.1			④ 33.9		④ 33.9									② 37.1				
75歳以上 (n=60)	① 45.0			② 38.3				⑤ 28.3						④ 30.0							③ 31.7	
女性18～29歳 (n=51)	① 54.9		② 41.2		⑤ 37.3			② 41.2				④ 39.2			⑤ 37.3							
30歳代 (n=97)	② 48.5	④ 46.4	① 49.5		③ 47.4			⑤ 41.2														
40歳代 (n=151)	① 41.7	③ 36.4	② 41.1		④ 33.8				⑤ 33.1													
50歳代 (n=155)	③ 40.6	④ 38.7	② 42.6				① 43.9							⑤ 36.8								
60歳代 (n=130)	① 36.9	④ 30.8		⑤ 29.2			② 34.6							③ 33.8								
70～74歳 (n=83)	② 36.1						① 43.4				③ 33.7			⑤ 32.5						③ 33.7		
75歳以上 (n=50)	① 40.0									③ 34.0			② 38.0		⑤ 32.0		③ 34.0	⑤ 32.0				

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)